令和３年４月号　通巻第625号　題字：出口 紅

阿づまの光

A Z U M A　N O　H I K A R I

4 Aprilo

他人（ひと）のこといふ暇があれば吾とわれを
胸に手をあて考へてみよ
【尊師 出口日出麿】

教主さまお作　灰釉茶盌
【信楽土、長生殿木の花桜釉】

〝ご奉仕の姿勢〟を忘れずに

総務管理課長　柿崎　哲男

今年も4月29日がやってきます。お優しくも厳としておられた四代教主さま。早くも20年祭を迎えます。とても気さくで、私のような若輩者にも大変近しく接してくださいました。愛善みずほ会の『みづほ日本』の編集に携わっていたころ、毎月、朝陽館で最終の原稿にお目通しいただき、温かいご指導を賜っていました。ある時には、タラヨウの葉にユーモアたっぷりのお手紙を頂戴（だい）したこともありました。四代さまのご教導のもと、「食・農・環境」をテーマとして活動する愛善みずほ会に対して、〝常に見守っていただいている〟、そんな当時のありがたさを思い出します。

ある時、お散歩の道すがら、万祥殿の事務所にお立ち寄りになられたことがありました。その時、たまたま受付には誰も待機しておらず、その場に居合わせた私に、「受付けは大事やから、あけたらあかんで」と、少し厳しくご指示いただいたことがあります。ほんの数秒間の出来事でしたが、信徒の皆さまやご参拝の方々をお迎えする心構え、ご奉仕の姿勢をお教えていただきました。

ご昇天当日、朝陽館にお帰りになった四代さまへ、最後のご面会が許されたことも忘れられません。そして何よりありがたかったことは、本葬を終えるまで、本宮山で採火されたご神火をお守りするご用にお仕えさせていただいたことです。それは四代さまへの最後のご奉仕であり、五代教主さまへのご奉仕の始まりでもありました。

お優しい四代さまのお姿に思いを馳せるとき、日ごろ忘れがちな〝ご奉仕の姿勢〟を再確認し、駐在宣伝使として、東京宣教センターの職員として、信徒の皆さまのお役に立てるよう、まい進せねば、と思わされます。

『阿づまの光』　発行 大本東京本部　東京宣教センター長・橋本伸作　〒110-0008　東京都台東区池之端 2-1-44
TEL03-3821-3701　FAX03-3821-5283　URLhttp://oomoto-tokyo.com　Mailtokyohonbu@oomoto.or.jp

『阿づまの光』が新しくなりました！

インターネットと併用した紙面づくりへ

新型コロナウイルスの影響で、リモート会議やライブ中継など、インターネットを利用する機会が一気に増えました。「阿づまの光」に掲載してきた「21世紀・生きが講座」も、本年から「東光苑オンライン講座」として、ユーチューブチャンネルでの配信に移行しました。

今後も、インターネットの利用が増加するものと存じます。そこで、かねてご案内のとおり、本紙に掲載してまいりました「21世紀・生きがい講座」は大本東京本部のホームページやユーチューブチャンネルに掲載し、インターネットと「阿づまの光」を併用しながら、大本東京本部からの情報発信を行っていくことといたしました。

表紙には、教主さまが、新・大本東京本部の竣成に際しご揮毫くださいました扁額「阿づまの光」を題字にさせていただきました。装いも新たに、皆さまと大本東京本部をつなぐ〝架け橋〟としての紙面づくりに努めてまいります。

宮城・岩手・福島

東日本大震災復興祈願・犠牲者慰霊祭

教主さまからメッセージ

東日本大震災から十年を迎えた宮城・岩手・福島の各機関では、本部役員を迎えて復興祈願と慰霊祭を執行した。

祭典には教主さまからメッセージが寄せられ、被災を巡回された当時のお気持ちや、今でも聖地からお祈りしておられるお言葉が述べられた。

宮城分苑（3月7日）

岩手主会（3月11日）

福島主会（3月21日）

東光苑月次祭に合わせ合同慰霊祭

東日本大震災犠牲者慰霊祭も

3月東光苑月次祭・交通安全祈願祭・春季合同慰霊祭は3月14日午前10時30分から、斎主・加藤道明祭務課長のもと執行された。祭典は、緊急事態宣言中のため、本部関係者のみで執行した。

合同慰霊祭では、10年の節目を迎える東日本大震災犠牲者の御霊（みたま）も合わせまつり、霊界でも弥栄を祈った＝写真。

祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつを行った。

出口紅作陶選集

5月4日 刊行!!

教主さまのご就任20周年を記念し、5月4日の教主生誕祭に合わせ、教主さまの初となるお作品集『出口紅作陶選集』が発刊されることとなりました。お申し込みは天声社で受け付けております。

申込締切＝4月25日

鉄絵梅紋茶盌

東光苑オンライン講座

5月19日（水）19：00～

みろくの世実現を目指して

講師：出口眞人（大道場講師）

大本が目指す「みろくの世」とはどのような世の中なのでしょうか。どうすれば実現するのでしょうか。私たち一人ひとりができることは。

大本東京本部ホームページでご覧ください！

東光苑春季大祭の参拝について

4月11日（日）の東光苑春季大祭は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、各機関からの代表参拝とさせていただきます。

参拝を予定されていた皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。（ただし、緊急事態宣言が発令されるなどの状況になりましたら、参拝をご遠慮いただきます）

なお、祭典の模様は、大本東京本部の信徒専用ページからライブ配信いたします。また、緊急事態宣言解除後の、通常のご参拝は可能です。ご宿泊については事前にお電話やメールにてご連絡願います。

大本東京宣教センター

5月 東光苑祭典・行事予定

4日（火・祝）午前10時30分執行
教主ご就任20周年記念
教主生誕祭・三代教主・教主補聖誕祭

5日（水・祝）午前10時30分執行
開教129年みろく大祭遥拝祭

9日（日）午前10時30分執行
東光苑月次祭

19日（水）午後7時～
東光苑オンライン講座（配信）
講題　みろくの世実現を目指して
講師　出口眞人（大本大道場講師）

29～30日（土～日）
葬祭研修会

※行事の延期や中止、祭典の参拝をご遠慮いただくなど、予定を変更する可能性があります。